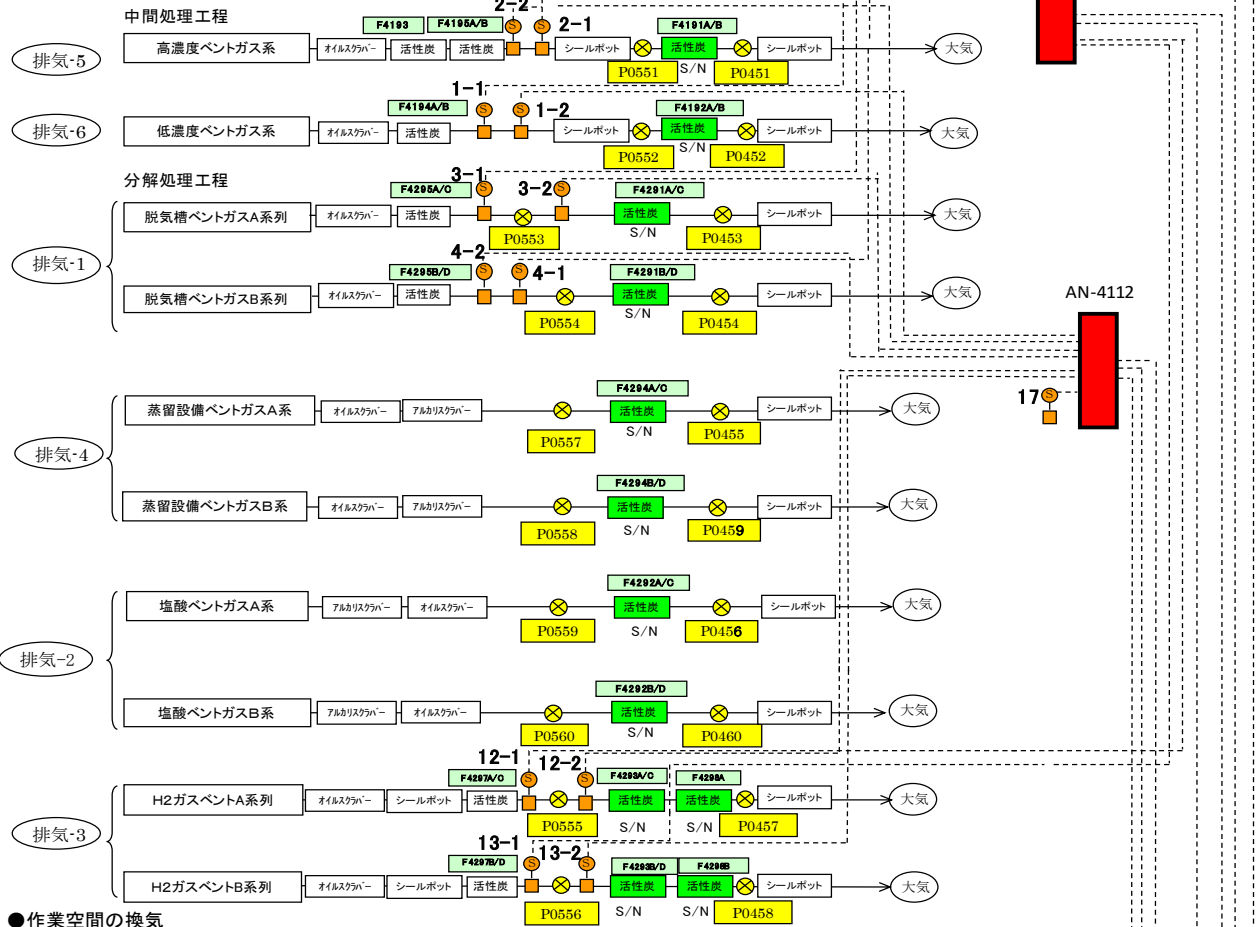


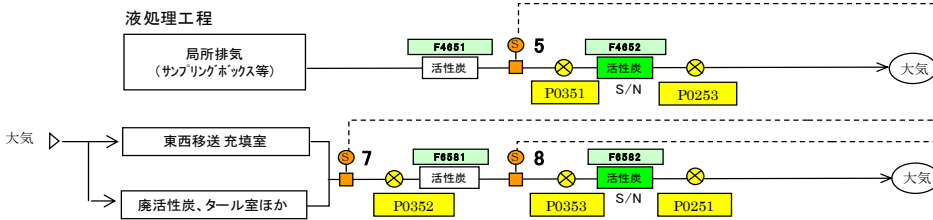
東棟オンラインモニタリング概略系統図

●PCBを取扱う設備の排気

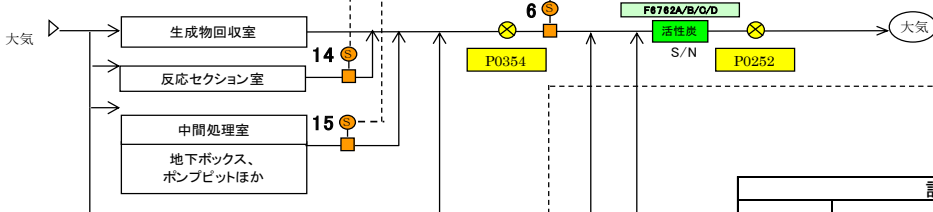
排気系統番号



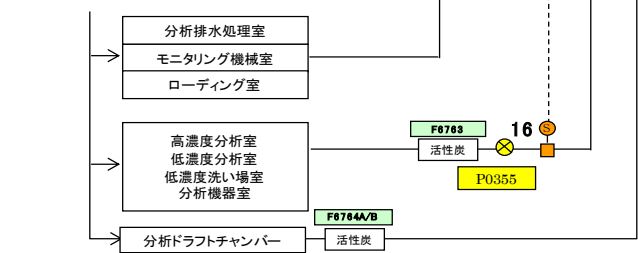
(管理区域レベル2)



(管理区域レベル1)



(一般PCB廃棄物取扱区域)



| 記号説明 |                       |
|------|-----------------------|
|      | オフラインモニタリング点(サンプリング口) |
|      | オンラインモニタリング点(プローブ管挿入) |
|      | 排気口                   |
|      | サンプリングポイントIDNo.       |
|      | 活性炭フィルター機器番号          |
|      | セーフティーネット活性炭フィルター     |
|      | 活性炭フィルター              |

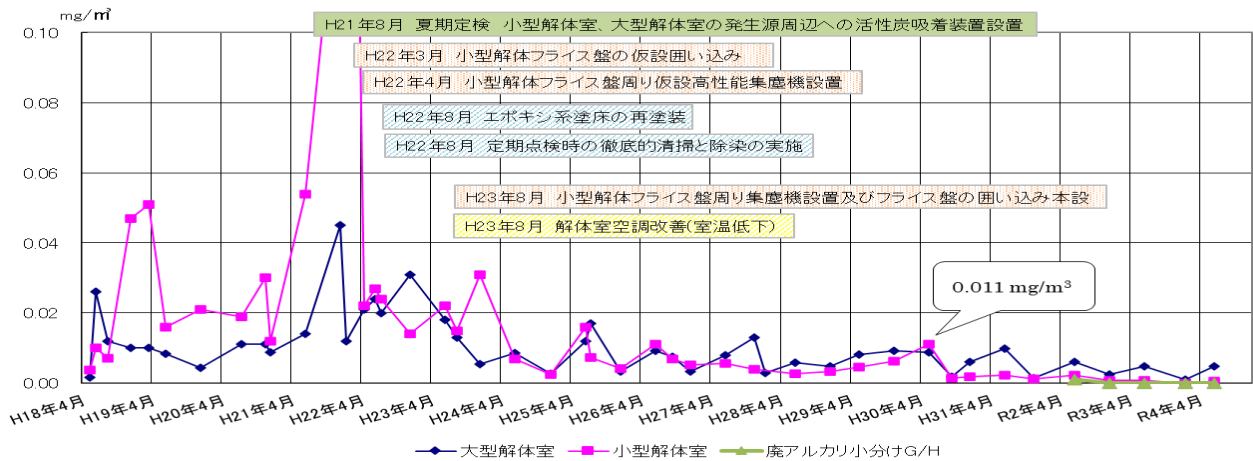
## 4. 作業環境測定結果

### (1) PCB濃度

作業従事者のPCB曝露防止のため、労働安全衛生法特定化学物質障害予防規則(法定測定)に基づき、大型解体室、小型解体室、及び処理困難物倉庫(廃アルカリ小分けG/H:ブース)の作業環境中のPCB濃度測定を毎年度2回実施(状況に応じて追加測定を実施)しています。

また、同等の管理が必要として受入検査室、抜油室、VTR処理室等を自主測定として同様に測定を実施しています。その測定結果は(表-16)(P20)に示しています。大型解体室と小型解体室の測定結果の経年変化を(図-4)に示しています。平成22年以降は僅かに低減傾向にありましたが、平成30年5月の測定では小型解体室で許容濃度 $0.01 \text{ mg/m}^3$ を超過しましたので、定期検査時に清掃と除染を行い許容濃度以下となりました。その後の測定でも許容濃度以下を維持しています。

図-4 作業環境中PCB濃度の経年変化及びPCB濃度低減対策実施状況



### (2) ダイオキシン類濃度

図-5、表-16 (P20)に示すとおり、平成30年5月の測定で小型解体室のダイオキシン類濃度が $100 \text{ pg-TEQ/m}^3$ と上昇しましたが、上記と同様に定期検査時に清掃と除染を行い同年9月の再測定から令和4年6月の定期測定まで、前年度と同程度を維持しています。

大型解体室は令和元年定期検査時に徹底的に清掃と除染を行い低下し、その後、前年度と同程度を維持しています。

図-5 作業環境中ダイオキシン類濃度の経年変化

